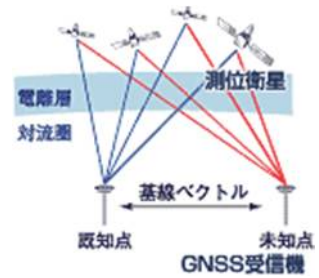




ネットワーク型 GNSS サービス(JENOBA)との接続

従来の RTK 測位では、相対測位という測位方式が利用されます。この方式では移動体の位置である未知点と、既に位置として座標の分かっている既知点（ベースステーション）の2ヶ所に1台ずつ受信機を置き同時に同じ衛星からのデータを受信します。これにより電離層や大気圏における伝搬遅延といった受信機単位で発生する誤差要因を打ち消し合うことができ、位置精度 2cm という高精度な位置情報を取得することができます。しかし、ベースステーションの利用では、無線通信距離の制約を受けてしまい、ベースステーションから 1.5km 程度までしか使用することができません。



このような問題を解決する方式として開発された技術が、ネットワーク型測位システムです。

ネットワーク型測位では、国土地理院によって全国に設置された約 1,300 点の既知点の GPS の情報から、補正情報を生成する技術です。この補正情報は、携帯電話等を利用して受信するため、使用エリアが格段に広がります。

VBOX3iSLR 及び VBOX3iR10G10 は、ジェノバ社の提供するネットワーク型 GNSS サービスを利用して、ネットワーク型 RTK 測位が可能です。

この測位方法により、全国の KDDI の受信可能エリアで RTK 測位が可能になります。



必要な機材

- VBOX3iSL-R もしくは VBOX3iR10G10 (販売先: VBOX JAPAN)
- CP-Trans SX (販売先: JENOBA)
- 仮想基準点向け緯度経度送信用 VBSS10 (販売先: VBOX JAPAN)
- 接続ケーブルキット (販売先: VBOX JAPAN)
- 2 台以上の車両でテストする場合は、補正信号転送用の無線機 (販売先: VBOX JAPAN)

本ネットワークサービスは、本ネットワーク型 GNSS データサービスは月々の補正情報利用料及び通信費用が必要なためジェノバ 及び KDDI との契約が必要になります。

必要な契約

- ジェノバ: ネットワーク型 GNSS サービス (JENOBA 方式)
従量プラン、定額プラン、年間契約プランのいずれか
- KDDI: 通信料の契約

VBOX と接続するための補正情報の方式

- GNSS(GPS+GLONASS) RTCM Ver.3
- シリアルボーレート 115200bps

ジェノバ問い合わせ先

〒101-0041 千代田区神田須田町 1-34-4 神田グロウビル 6F
 TEL : 03-5209-6885 FAX : 03-5209-6887
 URL : <http://www.jenoba.jp>
 担当者 : 岡田 正好